

マネージメント情報

2011 年 3 月



Total Herd Management Service

この記事は、機関誌や日常の出来事の中からわれわれが注目した話題を皆様に提供するものです。
ご質問、ご要望などなんでもお寄せくだされば、今後テーマとして取り上げたいと思います。

2011 Western Canadian Dairy Seminar (WCDS) に参加

3月7日から12日まで、毎年カナダで開かれている WCDS に参加してきました。全国の開業獣医師仲間ら5名と酪農関係の社員3名の参加でした。

1) 3月なのになんと-25℃

成田からバンクーバーで乗り換え、そのまま内陸のエドモントンまで飛びました。このエドモントンは、スキーや氷河などで有名なバンフやジャスパーなどの観光地への入り口としても知られています。そこから車で1時間半ほどで、目的地の Red Deer (赤鹿) という名の町に到着しました。すでにその時点で-20℃、翌朝は-25℃になっていました。ホテルから会場まではわずかに500mくらいのものなのですが、久しぶりに顔が耳が痛くなりました。



-25℃の中、会場まで 500m



WCDS 会場外景



会場内の各セミナー室

2) さっそくプレカンファレンスに参加

WCDSは、9,10,11日の3日間ですが、その前日にプレカンファレンスがあります。今回は、私たちは2つの組に分かれて、それぞれプレカンファレンスに参加しました。私たちの参加したカンファレンスは、Cow Signals というものです。牛がさまざまな形で発するシグナルをどうとらえ、どうそれを農場に反映させるかというような趣旨のものです。これは日本でもすでに出版されているカウシグナルという本と共通のものです。



カウシグナルのプレカンファレンス会場と講師

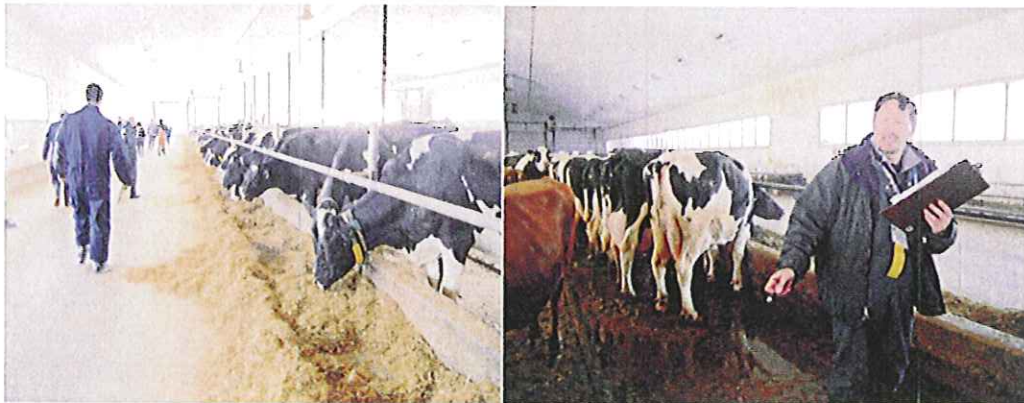
農場に向かう前に一通りの講習があり、その後資料に基づいて、それぞれが農場でのカウシグナルを評価しました。再び会場にもどり、各自良い点や改善点を一人一つずつ出し合いながらディスカッションをしました。それを総合的にコーディネーターがまとめあげるのですが、これが時間オーバーで5時くらいに終了す

定が、1時間半ほどオーバーしてやっとまとまったというほどいろいろ話ができました。それぞれ同じ視点もあれば全く異なった視点もあり退屈しませんでした。また、こうしたディスカッションをうまく引き出すことが大変に上手で、英語の苦手な私たちも何とか参加し、だれもが発言できるよう、そしてしやすいように雰囲気を持っていくことが上手でした。

農場は、完全なウオームバーンでそとは -20°C くらいあるのに中はほとんど凍っていません。しかし、不快な臭いなどなく換気もうまくいっているようでした。飼料は、ルーサンサイレージを主体に比較的荒目のTMRという印象でした。そのせいか牛の反芻は非常に強いもので、胃袋の張りもよく、痛んだ牛をみることはありませんでした。

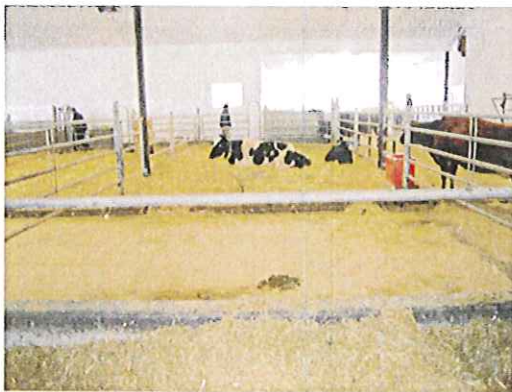


農場に向かうバスと鈴木先生・三好先生・そして私、写真を撮ったのは浜田先生

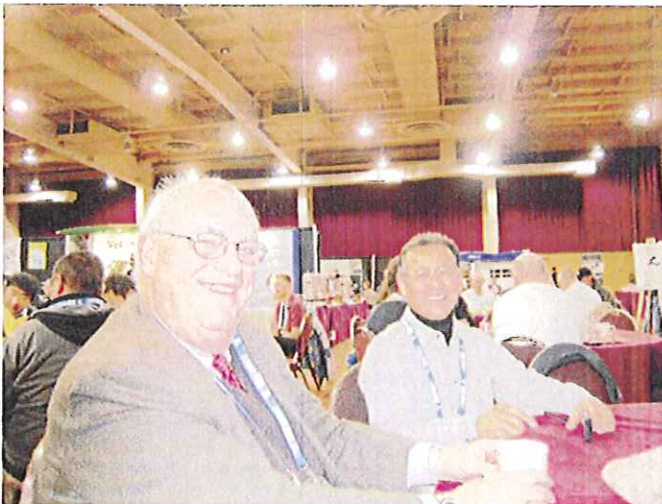


また、訪問したこの農場は120頭くらいの搾乳ですが、クオーター制が引かれているカナダでは、この農場の権利は約4億円で売ることができるのだそうです。農場に余裕を感じるのはそのせいだと確信しました。

農場内の写真の一部から若干カウシグナルが出ていますが、皆さんはどこを注目しますか？



出典ブース会場内での食事



スニッフェン先生やラリーチェイス先生もスピーカーとして会場にきていました。今回スニッフェン先生には、新しい飼料設計プログラムであるNDSを北米を中心に普及に努めているウェーバー先生を紹介いただきました。年をとってもいつもニコニコはつらつとしておられる姿に、こちらも力をいただける感じです。



WCDS 本大会セミナーの様子

プレカンファレンスについて、翌日から大会が始まりました。繁殖・栄養・乳房炎・環境問題まで様々なセミナーが3日間ありました。最終日は、アルバーター大学の大場先生から直接講習を受け、さらに Dr.Weber 先生を招いて新しい餌プログラムのNDSというプログラムについて一日講習を受けてきました。

今回は、この WCDS の発表のなかからいくつか紹介したいと思います。

*最近毎回そうなのですが、今回は特に時差に対する体の調整がうまくいかず、カナダではほとんど寝ずに終わってしまいました。帰りの飛行機もなぜかほとんど眠れず、東京についてとうとう発熱してしまいました。今回は、その発熱のため頭がボーとしてうまく文章が書けず、また技術的な紹介ができず本当に申し訳ありません。

黒 崎

マネージメント情報

※事務所増築しています。

現在、新年度より獣医師が2名増員する事にもない事務所の増築中です。若干ウナギの寝床の様を呈していますが、二階建てで一階には獣医師のスペース(5名分)の他 PCR 検査を行う検査室を新設し二階部分にはしばらくはそこにいるであろう新人獣医師用の部屋が二つあります。予定よりは若干遅れ気味ですが来週中には完成し各獣医師の引っ越しがあり、再来週にはピカピカの新人獣医師が赴任します。

帯広畜産大学の住谷君、東京農工大学の奥君ともに 3/16 に発表のあった獣医師国家試験に見事合格しました。



※長時間の停電があった時の搾乳について

東北関東大震災はまさに未曾有の大惨事で、毎日毎日その様子が報道されていますが心が痛むばかりです。

私が経験した一番大きな地震は平成 6 年 10 月にあった北海道東方沖地震です。

確か 1 日半程度の停電がありその間全く搾乳ができない状況でした。当時はまだ現在のようなフリーストールの大規模農場は少なく大きくてもせいぜい 100～150 頭規模で、繋ぎ飼いのタイストール牛舎が主体でした。

その時の農場の搾乳の対応ですが、頑張って全頭手搾りで搾乳をした農場と諦めて搾乳を全くしなかった農場とありました。

結果は諦めて搾乳をしなかった農場の方が問題は少なく、牛の事を思い本当に頑張って手搾りで搾乳をした農場は直後に乳房炎が多発しました。ミルカー搾乳に慣れた高必乳牛にとっては、手搾りで搾乳をするという事は時間がかかりすぎ、また搾乳者も途中で握力が無くなりちゃんとした手搾りもできなくなる事など想像以上に牛にストレスをかけるのだと思います。

今でも全頭手搾りをした方が手の平と甲から腕にかけてサロンパスだらけにして診療所に来て、「もう全然手がうごかないんだあ～」と言っていた事を思い出します。

というわけで、長時間にわたる停電時には搾乳はしない方が正しいという事を覚えていて下さい。

※第 62 回獣医師国会試験結果

数年前にも獣医師国会試験の結果をご紹介した事がありましたが、今回は当社の新人獣医師の発表でもあったので、例年よりはずいぶんと気になっていました。
農水省の HP からの抜粋になりますが今年の分をご紹介します。

別紙2

獣医師国家試験の結果(大学別)

区分	大学名	第62回			第61回			第60回			第59回			第58回			第57回		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
新卒者	北海道大学	42	40	95.2%	42	39	92.9%	41	37	90.2%	46	40	87.0%	35	30	85.7%	38	37	97.4%
	埼玉医科大学	39	37	94.9%	40	40	100.0%	41	37	90.2%	45	39	86.7%	39	34	87.2%	44	39	88.6%
	岩手大学	32	31	96.9%	35	34	97.1%	33	28	84.8%	33	29	87.9%	37	34	91.9%	32	29	90.6%
	東京大学	33	32	97.0%	26	26	100.0%	30	25	83.3%	30	24	80.0%	30	28	93.3%	30	27	90.0%
	東京農工大学	42	36	85.7%	38	32	84.2%	31	26	83.9%	32	26	81.3%	41	36	87.8%	40	34	85.0%
	岐阜大学	31	26	83.9%	32	30	93.8%	30	30	100.0%	30	27	90.0%	28	26	92.9%	31	28	90.3%
	鳥取大学	35	33	94.3%	35	34	97.1%	37	31	83.8%	38	34	89.5%	32	31	96.9%	40	31	77.5%
	山口大学	34	31	91.2%	29	27	93.1%	32	28	87.5%	31	29	93.5%	29	28	96.6%	35	31	88.6%
	宮崎大学	26	21	80.8%	33	28	84.8%	32	30	93.8%	31	27	87.1%	28	24	85.7%	29	27	93.1%
	鹿児島大学	34	31	91.2%	35	32	91.4%	33	30	90.9%	35	35	100.0%	26	19	73.1%	30	27	90.0%
	大阪府立大学	45	41	91.1%	45	42	93.3%	43	40	93.0%	43	36	83.7%	43	39	90.7%	41	38	92.7%
	経農学園大学	131	126	96.2%	139	126	90.6%	137	121	88.3%	131	109	83.2%	143	132	92.3%	134	124	92.5%
	北里大学	148	135	91.2%	137	130	94.9%	149	131	87.9%	134	124	92.5%	148	137	92.6%	149	133	89.3%
	日本獣医生命科学大学	95	86	90.5%	87	86	98.9%	89	67	75.3%	103	88	85.4%	99	91	91.9%	91	74	81.3%
	日本大学	141	124	87.9%	134	123	91.8%	130	107	82.3%	146	131	89.7%	136	129	94.9%	162	153	94.4%
	麻布大学	164	143	87.2%	153	131	85.6%	141	120	85.1%	158	133	84.2%	143	131	91.6%	142	134	94.4%
	新卒者数計	1,072	973	90.8%	1,040	960	92.3%	1,029	888	86.3%	1,066	931	87.3%	1,037	949	91.5%	1,068	966	90.4%
既卒者		197	75	38.1%	275	147	53.5%	232	94	40.5%	188	65	34.6%	209	108	51.7%	216	95	44.2%
受験資格認定者		6	4	66.7%	6	4	66.7%	1	1	100.0%	1	0	0.0%	4	2	50.0%	1	0	0.0%
予備試験合格者		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		1,275	1,052	82.5%	1,321	1,111	84.1%	1,262	983	77.9%	1,255	996	79.4%	1,250	1,059	84.7%	1,284	1,061	82.6%

注:「受験資格認定者」及び「予備試験合格者」とは、獣医師法第12条第1項第2号又は第3号に該当する者である。

・ 3/11 に発生した東北関東大震災は本当に驚きました。全く言葉がでてきません。
H7 年 1/17 に発生した阪神淡路大震災、H16 年 10/23 の新潟中越地震につづいた大地震ですが、今回は広範囲にわたる大津波の発生、二次災害としての福島県第一原発事故……。ただただ、全ての日本人が一致団結して自分の出来事ととらえて、この困難を乗り越え、一日も早い復興をとげる事を願いそして祈るばかりです。

犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

乳汁の新マイコプラズマ検査体制

根室家畜保健衛生所の平成23年度家畜衛生推進会議資料によると平成22年1月～12月実施された乳房炎原因検査1942頭のうちマイコプラズマ陽性62頭と報告されていましたが（62頭中61頭が病原性の強いマイコプラズマ・ボビス）。ということで根室管内から確実に出ており、注意が必要なのです！

現在当社では培養法によるマイコプラズマ検査を行っています。この方法では、判定に2～4週間ほどを要してしまい、対応の遅れに不安がありました。そこで酪農学園大学の樋口准教授らが開発した迅速簡易診断法を導入することになりました（現在準備中、4月中旬に開始）。これはマイコプラズマの遺伝子を検出する方法で、検査時間を3～5日ほどに短縮することが可能となります。マイコプラズマ性乳房炎の被害を最小限にするためには、

- ① 異常牛の早期発見、
- ② 新規導入牛や預託牛の検査
- ③ バルクスクリーニング（毎月～年3回程度）

が極めて重要とされています

新社屋完成の暁には、日常的にこの検査を行う体制を作ります。

（責任者 T）